

科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方に関する委員会
(第24期・第12回) 議事要旨

1 日時 令和2年3月31日(水) 16:00~18:00

2 場所 日本学術会議 5-C(2) 会議室

3 出席者: 渡辺 美代子(委員長)、山口香(副委員長)、高瀬 堅吉(幹事・記)、
田原 淳子(幹事)、井野瀬 久美恵、神尾 陽子、川上 泰雄、喜連川 優、
萩田 紀博、美濃 導彦、來田 享子
(欠席) 遠藤 謙、酒折 文武、田嶋 幸三、福林 徹、山極 壽一

(事務局) 高橋 雅之、實川 雅貴

4 議事要旨

(1) 提言案と回答案の審議

資料1-1に基づき、提言案について 議論した。要旨は以下の通り。

全体について

- ・改ページをなくして、図を大きくする。
- ・要旨について、議論の内容が適切にまとめられているので良いと思う。

サブタイトルについて

- ・サブタイトルは、キャッチーなものが良いので、EBSはどうか。
- ・多様な社会と個人のEBSはどうか。
- ・サブタイトルを「EBS」を入れた英語にしてはどうか。
- ・humanity、dignityを含めるのはどうか。
- ・人類に資するスポーツはどうか。
- ・サブタイトルの候補を改めて用意し、後日意見をうかがうことにする。

新型コロナウイルスの影響について

- ・現状を鑑みて、室内における運動について盛り込むのが良いと思う。
- ・新型コロナウイルスの終息以降の世界観を提言全体に滲ませる必要があるのではないか。
⇒まだ終息の状況は予想できないため、終息以降の世界観を述べることはできない。
- ・新型コロナウイルスの脅威を考慮して、運動が高める免疫系の働きについて記載すべきでないか。
- ・3つ目の提言「多様な人びとの参画による生涯を通した多様なスポーツ実践のための環境づくり」ところで、非常時におけるスポーツが果たす役割について言及できるのではないか。
- ・これまでの議論は良いが、非常時に起きる運動不足などは追加したほうが良いのではない

か。

- ・「5（1）スポーツを行う環境の担保」のところで、非常時における運動機会の創出を加えたほうが良いのではないか。
- ・「1はじめに」のところで、社会から取り残された人たちへ、社会から取り残されないためにスポーツが重要だというメッセージを送ることができるのではないか。
- ・体育の遠隔授業の現状や展望について提言のなかで触れるのが良いと思う。
- ・30分の有酸素運動が大切であることを示すエビデンスはある。運動習慣の重要性を示すことが重要だと思う。
- ・外出制限にともなう抑うつ感の低減にもスポーツが大切であるということをいれるのはどうか。それは要旨の3の箇所を膨らますことで、対応できるのではないか。
- ・非常時における健常者のエクササイズもスポーツに包含することで、スポーツの概念の拡張を提言に示すのはどうか。
- ・5に「非常時（危機的状況）におけるスポーツの役割」を入れたほうが良い。

構成について

- ・「4（7）障害者スポーツ」を「5スポーツの価値とリスク」に入れるのはどうか。
⇒5に入れると、障害者スポーツだけが切り離された印象を受けるため、現案のままとするのがよい。

資料1-2に基づき、回答案について 議論した。要旨は以下の通り。

回答(1)のタイトルについて

- ・「(1) 「スポーツの価値」を個人と社会双方に資するものにする寄与と貢献」の意味がとりづらい。
- ・審議依頼の文章を尊重すると、寄与と貢献は入ると思う。

資料1-3に基づき、提言・回答における用語について 議論した。要旨は以下の通り。

- ・選手（＝大会に出る人）、アスリート、運動実施者など、文脈に合わせて適切に使い分けたほうがよい。用語解説で説明したほうが良い。
- ・依存、アディクションの使い分けに関して、この提言については一般に馴染みのある言葉であり本分野の専門家が使用している用語を使用したほうが良いので「依存」が良い。用語解説で「依存」を説明し、アディクションについて言及したほうが良い。
- ・見るスポーツと観るスポーツについては、観るスポーツに統一する。
- ・指導とコーチングについては、文脈に沿って使用し、用語解説で説明する。指導は学校教育で使用する。
- ・多様性とダイバーシティについて、多様性に統一する。
- ・練習とトレーニングについては両方使用し、用語解説も不要である。
- ・パラリンピックアスリートとパラアスリートについては、田中先生に伺い、決定する。

- ・パラスポーツと障害者スポーツについては、競技に特化した場合はパラスポーツ、広くとらえる場合には障害者スポーツとする。
- ・障害者と障がい者については、障害者の方が障害者を使っているので、「障害者」で統一する。用語の説明でもそれを加える。
- ・我国、我が国、わが国については、これらは使わず、日本または国内を使用する。

資料1-4に基づき、今後の予定について議論した。要旨は以下の通り。

- ・新型コロナウイルスの影響があるため、学術フォーラムの開催日時は変えないが、集合が難しい場合はオンラインで開催することとする。
- ・4/13に査読に提出することを確認した。

(2) 学術フォーラムの検討

資料2に基づき、学術フォーラムについて議論した。

- ・パラアスリートの鈴木徹氏に講演をお願いする。
- ・田中ウルヴェ京氏に講演をお願いする。
- ・EBSを勘案して、国立スポーツ科学センターの方に講演をお願いする。
- ・総合討論については、幹事団で相談して、委員の方にご依頼する。
- ・決まった方だけ公表して、学術会議のHPに掲載する。

(3) 公開シンポジウム「スポーツと暴力」の報告

資料3に基づき、公開シンポジウム「スポーツと暴力」の報告記事の掲載が紹介された。

以上